

民泊

危機管理 マニュアル



NPO法人 おおきみまることツーリズム協会

〒906-1314 沖縄県国頭郡大宜味村宇屋港 1-357-18
TEL0980-44-1960 FAX0980-44-1961

NPO法人 おおきみまることツーリズム協会

- 民泊危機管理マニュアル作成にあたり…………… 1
- 災害時避難所 MAP …………… 2
- 事故発生時の対応について…………… 4
- 食中毒…………… 5
- うちなー（沖縄）料理に使われる食品…………… 6
- 熱中症…………… 7
- 虫に刺された…………… 8
- 動物に咬まれた…………… 9
- 搬送…………… 10
- 危険生物リスト…………… 12



民泊危機管理マニュアル作成にあたり

**いざというとき、あなたの対策は万全ですか？
自分たちの身の安全は、自分たちで守ろう！**

NPO 法人おおぎみまるごとツーリズム協会では、安心・安全な民泊受入の為に、救急救命講習会や防災訓練や、アレルギー講習会等の勉強会・研修集会を実施しております。この度、大宜味村と協働の下、風水害や津波などさまざまな災害から身を守る為や食中毒等の対応、危険生物リストなどを織り込んだ民泊危機管理マニュアルを作成。また、民泊受入民家すべてに、非常用持ち出し袋を配布・設置いたしました。

災害は、避けることはできませんが、対処の仕方により被害を軽減することができます。

地震、風水害、火災、その他大規模災害から身を守るため、また、これらの大規模災害に備えるための参考資料として、このマニュアルを活用してください。

平成 28 年 2 月 29 日

NPO 法人 おおぎみまるごとツーリズム協会



※非常用持ち出し袋 15 点セット

災害時避難所MAP

- 1 村立喜如嘉公民館
- 2 田嘉里公民館
- 3 饒波公民館
- 4 大宜味公民館
- 5 根路銘公民館
- 6 上原公民館
- 7 塩屋公民館
- 8 屋古公民館
- 9 津波公民館
- 10 江洲公民館



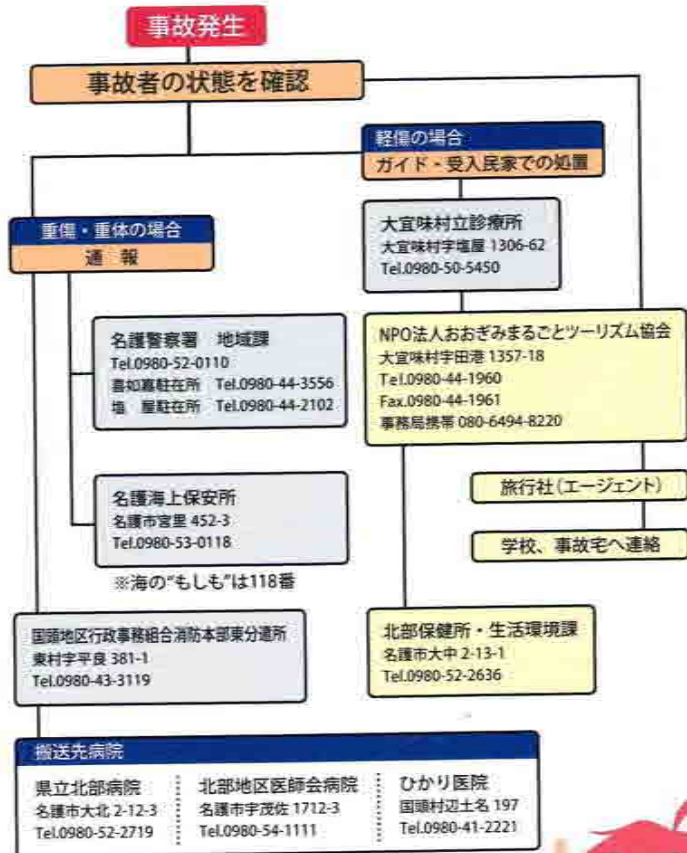
喜安家	伊藤家
宮城(山)家	川島家
津波(山)家	佐藤家
津波(山)家	佐藤家
津波(山)家	佐藤家
津波(山)家	佐藤家
津波(山)家	佐藤家
津波(山)家	佐藤家
津波(山)家	佐藤家
津波(山)家	佐藤家



事故発生時の対応について

緊急連絡体制図

● 事故発生時には以下のような緊急連絡体制図にて対応いたします。



食中毒

調理してから食べるまでに時間が経った食物や、生の食品が細菌で感染されると、増殖した細菌そのもの、または細菌の出す毒素が中毒の原因となります。

症状

腹痛、嘔吐、下痢で始まり熱が出ます。ボツリヌス菌中毒では、眼球、喉、食道の筋肉麻痺などの神経系の症状として、物が二つに見えたり、飲み込むことや、呼吸ができなくなったりします。

手当

吐いたものが気管に入らないよう気をつけます。できるだけ早く病院に搬送し、吐いた物や便などは医師に見せます。子どもの場合には、吐き気が治まるようなら十分に水分を与えます。

予防

- 調理や食事の前後にはよく手を洗う。
- 手に傷がある場合には、素手で調理しない。
- 肉や野菜はよく加熱してから食べる。
- 家族に下痢をしている者がいたら、シャワー浴、または最後に入浴させる。



細菌の感染が中毒症状を起こすもの

腸炎ビブリオ、病原性大腸菌、サルモネラ属などの細菌がある。貝類を生で食べると腸炎ビブリオによる中毒を起こすことがあります。また、腸管出血性大腸菌 O157 による食中毒を疑った時に血性の下痢を認めたら感染の可能性があります。

細菌が出す毒素で中毒を起こすもの

ブドウ球菌、ボツリヌス菌などの細菌があります。ブドウ球菌による中毒はクリームやアン類使用の菓子類で起こりやすく、ボツリヌス菌中毒はソーセージ、ハム、缶詰などが原因になりやすいです。

うちなー (沖縄) 料理に使われる食品



沖繩そば

本土の蕎麦とは違い、沖繩そばの麺は小麦粉・食塩・植物油・卵粉末・かんすい・くちなし色素で出来ています。



シーマミー豆腐

一見「プリン」にみえるシーマミー豆腐。とても美味しいのですが、落花生(ピーナッツ)で出来ています。



チャンプルー料理

沖縄料理の中で有名なのが「ゴーヤーチャンプルー」です。ゴーヤーや島豆腐、ポークを炒め卵でとじたもの。他にもお麩を使ったアーチャンプルーもあります。



サターアングギー

沖縄のミスタードーナツ! 小麦粉・卵・砂糖(黒糖)等で出来ています。きれいなチューリップのお花の形に焼きあがります。



タコライス

ご飯の上にタコミート(挽肉・玉ねぎ・スパイス等を加えて調理したもの)チーズ・レタス・トマト等がトッピングされた、沖縄の人気メニュー。

熱中症



高温、多湿、風が弱いなどの環境では、体からの熱放射や汗の蒸発が不十分となり、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温や体液の調整機能が破綻することがあります。このために起きる障害が熱中症で、熱痙攣(全身痙攣ではなく「筋肉のこむらえり」)熱失神(立ちくらみ)、熱疲労(全身の倦怠感や脱力、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢など)の症状がみられます。

手当

- 日陰や涼しい室内などに避難させ、本人が楽な体位にする。(顔面蒼白で脈が弱い時は足を高く。)意識があり、吐き気などがなければ、スポーツ飲料が薄い食塩水などを与える。
- 露出させた皮膚に水をかけ、うちわなどで扇ぎ、体を冷やす。氷嚢などがあれば、頸部、腋窩部(わきの下)、鼠径部(大腿の付け根)に当て、皮膚の下を流れる血液を冷やす。
- 水分補給できない、症状が改善されない、様子がおかしい、全身の痙攣がある時などは、ただちに救急隊を要請し、到着を待たずに体の冷却を始める。意識がなく、普段どおりの呼吸もない場合は、一次救命処置の手順で手当する。

予防

- 屋外では日陰を選び、室内では扇風機やエアコンなどを利用する。こまめに汗を拭き、吸汗・速乾素材や通気性のある衣類、帽子を着用するなど工夫して暑さを回避する。
- のどが渇く前、熱いところにいる前からこまめに水分を補給する。(アムールは体内の水分を排泄するので注意。)
- 急に暑くなる日や久しぶりに暑い環境で活動する時は熱中症になりやすいので、暑さに徐々に慣れる工夫をする。また、日頃から運動で汗を流して、暑さに備えた体作りをする。
- 疲労や、睡眠不足、肥満、慢性疾患、薬剤服用など個人の条件も考慮する。高齢者や子どもなどは熱中症になりやすいので特に注意を、集団活動の場ではお互いに配慮する。

虫に刺された

ハチ

ハチに刺されると痛みと腫れが起こり、ハチ毒に過敏な人は、一匹に刺されてもショック状態になったり、呼吸停止を起こし死亡することがあります。



手当

- 針が残っているものは、根本から毛抜で抜くか、横に払っておとします（針をつまむと、針の中の毒をさらに注入することがある）。
- 冷湿布をして医師の診療を受けさせる。

アブ・かなど

特に大きな被害はなく、赤く腫れて痛みはありますが、1週間くらいで治癒します。

手当

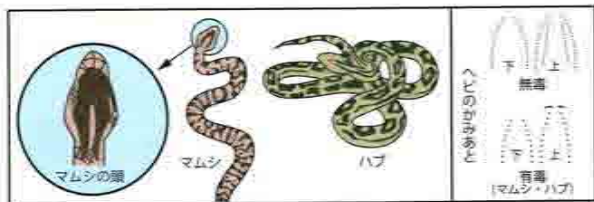
- 局所の痛みや腫れがある場合には、水で冷やす。
- ひどい時には医師の診療を受けさせる。

動物に咬まれた

ヘビ

日本に生息する時へびには、マムシ（日本全土）、ハブ（沖縄、奄美大島）、ヤマカガシ（本州、四国、九州など）がいます。

いずれも、咬まれると腫れと痛みが起こり、適切な応急手当をしないと全身状態が悪くなり死亡する可能性があります。



手当

- もし毒へびにかまれたら、
- 安静にして、手足を曲げ伸ばしたり走ったりしない。
 - 傷口に口をつけて吸い出したりしない。
 - 毒液が目に入ったときはすぐに水で洗い流す。
 - 直ちに医師の診療を受けさせる。毒へびでは、10分間前後で傷口が腫れてくる。血清の投与など適切な治療をしないと、死亡することがある。

搬送

傷病者を動かしたり、運んだりすることは、どんな場合にもある程度の危険を伴います。どんなに慎重に運んでも、必ず傷病者に動揺を与えることになるからです。

搬送法を誤って悪い結果にならないように、正しい方法で行うことが重要です。

搬送の準備

- 傷病者に対する手当は完了したか。
- 傷病者をどんな体位で運ぶか。
- 保温は適切か。
- 担架は安全・適切に作られているか。
- 人数と役割はよいか。
- 搬送先と経路は決まったか、それは安全な経路か。

1人で運ぶ方法

抱いて運ぶ

傷病者が子どもや軽い人ならこのように運ぶことができます。ただし、骨折などの時は、この方法で運んではいけません。



背負って運ぶ

両膝を引き寄せて抱え込み、手首をしっかりとつかんで安定させます。

後ろから引っ張って運ぶ

意識のない傷病者など、とりあえず危険な場所から離れたところへ移す時に役立ちます。傷病者の頭部から脇の下に手を入れ上体を起こし、両脇の下から手を入れて前腕をつかみ、傷病者の臀部を床から上げるようにして引っ張ります。



2人で運ぶ方法

両脇について運ぶ

重傷者でなく、救助者の首につかまることができる傷病者の時。救助者は一方の手で傷病者の背中を支え、他方の手を膝の後ろに回して、互いに手首を握り合い持ち上げます。



前後について運ぶ

意識不明の場合は、気道を確認しながら運びます。1人は後ろから起こし、両脇の下から手を通して前腕をつかみ、もう1人は傷病者の足を重ねて両手で抱えます。頭側の救助者の合図で立ち上がり、傷病者の足の方へ進みます。



3人で運ぶ方法

両側について運ぶ

傷病者を水平にして運ぶことができます。片側に2人、反対側に1人がついて、傷病者の足の方の膝をつき、体の下に手をいれます。頭側の救助者の合図によって、傷病者を膝の上に載せ、手首を握り合って立ち上がり、傷病者の足の方向へ進みます。



危険生物リスト

ハブ クサリヘビ科

猛毒を持った毒蛇。大型のものは全長2mを超える。直射日光や高温に弱く、石垣などの物かげや穴に隠れていて、夕方から夜明けの間に行動する。特に夜間は注意が必要。4～11月ごろの活動が盛ん。冬も温かい日は活動するので危険。奄美～沖縄諸島



ヒメハブ クサリヘビ科

全長30～80cm。平地から山地の、川や湿地などの近くで見られる。太く短い。ハブに比べ小型で動きがにぶく、ニーパー（方言で居眠りハブ）とも呼ばれる。毒はハブよりも弱いが必要。おもにカエルを食べる。年中活動し、冬のさむ時季でもよくみられる。

奄美～沖縄諸島



危険な生きもの

危険な生きものから身を守る4カ条

- 1 事前に危険なものを覚えて出かけよう
- 2 フィールドではよく見て気づこう
- 3 おやみに近寄らない、触れない、食べない
- 4 適切な服装や救急用品を持とう

ガラスヒバア ナミヘビ科

猛毒を持った毒蛇。大型のものは全長2mを超える。直射日光や高温に弱く、石垣などの物かげや穴に隠れていて、夕方から夜明けの間に行動する。特に夜間は注意が必要。4～11月ごろの活動が盛ん。冬も温かい日は活動するので危険。奄美～沖縄諸島



《番外編》危険性なし

やーるー (ミナミヤモリ)

沖縄のヤモリは透き通るような白い皮をしていて「チッチッチ」と鳴きます。沖縄では“家の守り神”として大事にされています。



たち

生きものの種類が豊富なやんばるの森。その中には危険な動物や植物も数多く存在します。有毒でその毒性が強いものには、十分に注意して森を楽しみましょう。

事故の多くは気づかずに近寄ったり、危険性をわからずに触ったりした場合がほとんどです。右の生きものは何かわかりますか？

